

防災世界子ども会議 神戸フォーラム 2011

メインテーマ：気候変動と私たちの住む街の防災・減災

with 世界大会参加レポート「第6回 防災世界子ども会議 2010 in トルコ」

2011.01.20

「気候変動と私たちの住む街の防災・減災」をテーマに、神戸の3高校の生徒がそれぞれに挑んだ「災害安全マップ」を披露しあい、「学びの方法」を深めます。また昨夏「第6回防災世界子ども会議 2010 in トルコ」に参加した高校生のレポートを行います。

日時：平成23年1月29日（土）13：30～16：30

会場：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 西館1F ガイダンスルーム
(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2)

対象：小学生以上～一般 定員：100名（要予約）

参加費：無料

開催趣旨：

今回の神戸フォーラムには2つの大きな柱があります。

1つは、「防災世界子ども会議 (NDYS) *」が、2010年度、「気候変動と私たちの住む街の防災・減災」をテーマに、神戸地元の高校生が協働して主体的な防災学習に取り組んできた「NDYS-KOBE 高校生プロジェクト」の総仕上げとして、参加者どうしその成果をプレゼンテーションし合う機会であることです。高校生たちが自らの意思で対象とする地元地域を取り上げ、そのエリアの調査や街歩きを通じて作りあげた「災害安全マップ」の成果を確認できることでしょう。

また、もう1つは、NDYS が昨夏トルコで開催した世界大会への神戸からの参加報告をし、その意義を日本・神戸の仲間たちと共有し合う機会であることです。実行委員会では、昨年度09年の「NDYS-KOBE 高校生プロジェクト」に参加した高校生の代表者を、2010年8月にトルコのブルサ市にて行われた、「第6回防災世界子ども会議 in トルコ**」に派遣しました。代表者らは活動の成果を世界の仲間たちに披露し、また同じように「災害安全マップづくり」を推進する世界各地の学校の取り組みに学びながら、大きな成長を実感できる7日間をトルコで過ごし、帰国しました。この大会「トルコ会議」にて発表された12カ国・地域の災害安全マップの成果をビジュアルに共有するとともに、振り返りたいと思います。

神戸の高校生たちが、自分たちの足元を見つめ、学びあったことを確認し合うこと。またその成果を世界の仲間たちに対して披露して、グローバルな視野で自分たちの作品を見つめ直すこと。NDYS のこうした一連の活動に参加した若者たちの中から、きっとこれからの世界の防災・減災を担う道へと羽ばたいてゆく人材が育っていくことでしょう。そのことを確信しながら、震災16年目となるこの2011年の神戸フォーラムを開催します。

プログラム

インターネットテレビ会議で神戸の会場と世界の学校を結んでフォーラムを開催します。

13:30-13:40	<p>オープニング</p> <p>主催者挨拶 岡本 和子 (防災世界子ども会議代表)</p> <p>特別メッセージ:</p> <p>公益財団法人 兵庫県国際交流協会理事長 齋藤 富雄</p>
13:40-14:25	<p>『NDYS-KOBE 高校生プロジェクト2011』成果発表</p> <p>テーマ -気候変動と私たちの住む街の防災・減災-</p> <p>それぞれの高校が取り組んだ「地域災害安全マップ」づくりについて</p> <p>○ プレゼンテーション</p> <p>「住吉川の大雨対策について」 神戸市立葺合高等学校 A チーム</p> <p>「中央区の土砂崩れについて」 神戸市立葺合高等学校 B チーム</p> <p>「気候変動と、私たちの住む街の防災・減災 危険! 昼と夜の差」 兵庫県立川西高等学校</p> <p>「気候変動と、私たちの住む街の防災・減災 もしも、武庫川が氾濫したら」 兵庫県立川西高等学校宝塚良元校</p> <p>○ コメンテーター</p> <p>独立行政法人防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター 特別研究員 塩飽 孝一</p> <p>神戸学院大学 防災・社会貢献ユニット 専任講師 船木 伸江</p>
14:25-15:05	<p>2010 世界大会「第6回防災世界子ども会議 in トルコ」参加報告</p> <p>○ プロジェクト・メンバー レポート</p> <p>「トルコ報告」 兵庫県立舞子高等学校 環境防災科</p> <p>「異国での学び」 神戸市立葺合高等学校</p> <p>「会議から学んだこと」 兵庫県立川西高等学校宝塚良元卒業生</p> <p>○ ゲストレポート:「防災世界子ども会議のワークショップを実施して」 神戸学院大学 防災・社会貢献ユニット</p>
15:05-15:15	<p>休憩</p>
15:15-16:05	<p>世界の子どもたちとインターネット・ミーティング</p> <p>○ トルコで発表された12カ国・地域の災害安全マップを CoSMOS を使って見てみよう!</p> <p>関西学院大学大学院 理工学研究科 情報科学専攻 吉岡 洋輔</p> <p>○ それぞれのマップをつくった世界の仲間たちの声を聞いてみよう!</p> <p><参加予定の国・地域></p> <p>アゼルバイジャン (Mahmudov School)</p> <p>イラン (Saba high school)</p> <p>インドネシア (SMP)、台湾 (FXM, FHS, CCAFPS)、</p> <p>トリニダード・トバゴ (El Dorado Comprehensive Secondary)、</p> <p>トルコ (TUNCSIPER SCHOOLS)、日本、他</p>
16:05-16:15	<p>『NDYS-KOBE 高校生プロジェクト2011』プロジェクト修了証書授与式</p>
16:15-16:30	<p>総括メッセージ</p> <p>関西学院大学 総合政策学部 都市政策学科 教授 室崎 益輝</p>

16:30	クロージング ○ 2011年度、NDYSのプロジェクト、予定と参加者募集のおしらせ ○ テレビ会議で遠隔合同写真撮影
-------	--

※ プログラムは変更になる場合があります。

全体進行 防災世界子ども会議実行委員長 納谷 淑恵

*NDYSは、阪神・淡路大震災から10年を機に、ひょうごからスタートした国際協働プロジェクトです。ICT(情報コミュニケーション技術)を活用して、世界の子どもたちが、さまざまな国・地域の防災の「知恵」や災害から学んだ「教訓」を共有し、学びあうことを通して、多様な価値観をもつ人々と協力・協働しながら、『気候変動と防災』という地球規模の課題に取り組み、その成果を未来へ発信するアイアーンの国際協働プロジェクトです。

URL : <http://ndys.jearn.jp/>

**「第6回防災世界子ども会議 in トルコ」は、2010年8月23日から29日の7日間、トルコのブルサ市ホールやトウクシペール校他で開催され、コのブルサ市、タイアレカルチャーホールで開催され、世界17カ国・地域の学校から150名、開催国から150名、計300名が参加しました。日本からの代表として、神戸から6名の高校生(子ども)を含む21名が参加しました。

主催： 防災世界子ども会議実行委員会

共催： (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

国連教育科学文化機関 (UNESCO)

京都大学大学院 地球環境学堂 国際環境防災マネジメント論分野

神戸大学 海事科学部 附属国際海事教育研究センター

国際防災教育支援団体 (SIDE)

iEARN (アイアーン International Education and Resource Network)

後援： 内閣府、外務省、文部科学省、国土交通省近畿地方整備局、兵庫県、神戸市
兵庫県教育委員会、ひょうごeスクールコンソーシアム、神戸市教育委員会

兵庫県私立中学高等学校連合会、アジア防災センター (ADRC)

国際連合地域開発センター (UNCRD) 兵庫事務所

国際防災復興協力機構 (IRP) 事務局

国際連合大学高等研究所、(公財)兵庫県国際交流協会

(独)防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター (EDM)

(独)国際協力機構兵庫国際センター (JICA 兵庫)、兵庫ニューメディア推進協議会

NPO 法人はりまスマートスクールプロジェクト

遠隔教育研究会 MINE、(社)日本教育工学振興会 (JAPET)

特別協力：(独)情報通信研究機構(NICT) 言語グリッドプロジェクト

関西学院大学 理工学部 情報科学科 北村研究室

協力：イザ!カエル大キャラバン in HAT 神戸実行委員会

NPO 法人国際教育センター

本フォーラムは、「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」と「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて実施しています。

お問い合わせ先：E-メール

ndys@jearn.jp（事務局：防災世界子ども会議実行委員会）

TEL 078-862-8288

◎ 参加者募集のコメント

本フォーラムへの参加者を広く募ります。神戸で防災教育について考えている先生方や、実際に学んでいる生徒・大学生のみなさん、マスメディアの記者の方など、ぜひ一緒にしませんか。

NDYS では来年度の「神戸プロジェクト」に参加いただける学校・生徒の募集もしています。当日はその開始に向けたガイダンスもいたしますので、ぜひご参加をご検討ください。